

本日審議する下期案件の審議内容と課題整理

【審議要旨等】

農空間「交流型集落道整備事業（堺南部地区）」

- ・事業費増の予測は難しいか 地質調査で判明
- ・技術的なプロであり分かるのではないか。
- ・事業費の増加による再評価が事後的。当初から見込むとB/Cが下がる。増減幅をどこまでみるか
- ・これまでと同じようなケース。検証し対策を考えるべき

街路「千里丘三島線」

- ・用地残1%は事業に影響ないか ない
- ・完成が1年遅れる理由 豪雨対策の冠水情報装置を設置
- ・本装置の費用は 4,000万円 全体事業費減に増要因もある
- ・事業費の増減は予測できないか JRとの関係、地盤調査
- ・国土交通省マニュアル改訂の内容確認、交通量調査の確認

道路「大阪河内長野線（大野天野区間）」

- ・用地の進捗状況は
12地権者19筆のうち5地権者5筆完了で残り任意交渉
23年までにできるのか。見通しがなければメリハリが必要では

街路「松之浜駅前通り線」

- ・期はあと何年で完成か 3年
- ・マニュアル改訂（原単位）の確認、B/Cやネットワークから意義低下しているのでは
- ・期をとりやめるなど、メリハリのつけるべきでは
予算がつかない。将来休止も

空港周辺整備「大阪国際空港周辺緑地（利用緑地）整備事業」

- ・上ものの整備主体は
芝生広場等は府整備、市管理。プールは市が整備、管理
- ・利用状況の確認
- ・知事は空港計画の見直しを言っている
仮に廃止になっても将来的なこと。現在の騒音対策は必要。
平成25年度末完成を目標に事業推進
整合性を持たないと無駄な投資になる可能性あり。事業計画の見直しはできないか

ダム「安威川ダム建設事業」

【課題整理事項】

- ・当初事業費の内訳、積算根拠を提示し、今回の増減要因を再整理。変動を抑制する対応策を提示

- ・事業費増が事後報告にならないための予防策を提示

- ・前回評価時と今回評価の増減の内訳を詳細に提示し、その変動理由、事業費算出の精度を確認

- ・今後の事業進捗見通しの詳細
- ・中止、休止も含めた今後の道路事業の進め方

- ・中止、休止も含めた今後の道路事業の進め方

- ・事業計画見直しの支障の有無

- ・利水撤退に伴う2案の詳細比較
- ・利水部分の有効活用策含む河川整備委員会での審議状況報告
- ・治水ダムとしての必要性の再確認
- ・自然環境対策の取組み
- ・その他